

主な機能一覧

ベーステクノロジー		F	A	L	S	D
Parasolidモデリングカーネル		●	●	●	●	●
高速な描画テクノロジー (VGM)		●	●	●	●	●
Cinewareレンダリングエンジン		●	●	●	●	●
2D/3D基本機能		F	A	L	S	D
線と面の2D汎用図編集		●	●	●	●	●
図形への透過 / 影表現		●	●	●	●	●
2D/3D対応の文字、寸法作図		●	●	●	●	●
スナップルーベ・X線選択モード		●	●	●	●	●
スマートオプションディスプレイとクイック検索		●	●	●	●	●
オンスクリーンビューコントロール		●	●	●	●	●
イメージのクロップ / 圧縮		●	●	●	●	●
データベース / ワークシート		●	●	●	●	●
シートレイヤ・ビューポート		●	●	●	●	●
デザインレイヤ・ビューポート	-	●	●	●	●	●
ビューポートスタイル		●	●	●	●	●
オーガナイザ (図面構造の集中管理)		●	●	●	●	●
リソースマネージャ (リソースの総合管理)		●	●	●	●	●
名前の一括変換		●	●	●	●	●
ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント		●	●	●	●	●
フローティングデータバー		●	●	●	●	●
ウインドウタブ/タブパレットの切り替え		●	●	●	●	●
2D→3Dへのプッシュ / プルモード		●	●	●	●	●
多彩で強力な3Dモデリング/編集		●	●	●	●	●
統合ビュー		●	●	●	●	●
クリップキューブ (3Dモデルのリアルタイム切断)		●	●	●	●	●
2D/3D対応のワーキングプレーン		●	●	●	●	●
協働設計支援 (プロジェクト共有)	-	●	●	●	●	●
クラウド連携・リモート	●	●	●	●	●	●
DXF/DWG取り込み・取り出し	●	●	●	●	●	●
PDF (2d) 取り込み・取り出し	●	●	●	●	●	●
PDF (3d) 取り出し	-	●	●	●	●	●
Excel参照・取り込み・取り出し	●	●	●	●	●	●
パブリッシュ (DXF/DWG/DWF/Excel)	●	●	●	●	●	●
パブリッシュ (PDF/印刷/イメージ)	-	●	●	●	●	●
3Dレンダリング	●	●	●	●	●	●
バックグラウンドレンダリング	●	●	●	●	●	●
2D/3D基本機能		F	A	L	S	D
オブジェクトレベルの表示設定	-	●	●	●	●	●
ビューポートレンダリング	●	●	●	●	●	●
パスベースのワークスルーアニメーション	●	●	●	●	●	●
写真と3Dの合成 (Camera Match)	●	●	●	●	●	●
イメージエフェクト	●	●	●	●	●	●
豊富なシェーダ	●	●	●	●	●	●
パララックスパンプ/ジャドゥキャッチャー	●	●	●	●	●	●
背景テクスチャ/背景放射光/フィジカルスカイ	●	●	●	●	●	●
コースティクスフォトン	●	●	●	●	●	●
ソフトシャドウ/アンビエントオクルージョン	●	●	●	●	●	●
CPUでも利用可能なリアルスティックRSレンダリング	●	●	●	●	●	●
VGX (AR)、パノラマビュー取り出し	●	●	●	●	●	●
Datasmithダイレクトリンク	●	●	●	●	●	●
Omniverseコネクタ (Windowsのみ)	●	●	●	●	●	●
建築・内装設計機能		F	A	L	S	D
マテリアル作成	-	●	●	●	●	●
データマネージャとデータタグ	-	●	●	●	●	●
グリッド線 (導り筋) とレベル基準線	-	●	●	●	●	●
スペース作成 (空間定義) / 部屋仕上げ	-	●	●	●	●	●
ストーリー [階層] 管理	-	●	●	●	●	●
スタイルに対応した構造材	-	●	●	●	●	●
キャビネット / カウンタートップ	-	●	●	●	●	●
壁 / カーテンウォール作成	-	●	●	●	●	●
スラブ / 水勾配作成	-	●	●	●	●	●
屋根作成	-	●	●	●	●	●
壁 / スラブ / 屋根スタイル (構成要素)	-	●	●	●	●	●
ドア / 窓作成	-	●	●	●	●	●
階段 / 手摺 / フェンス作成	-	●	●	●	●	●
プラグインオブジェクトスタイル	●	●	●	●	●	●
詳細図 / 投影図ビューポート	-	●	●	●	●	●
水平・垂直断面ビューポート	-	●	●	●	●	●
室内展開図ビューポート	-	●	●	●	●	●
データの可視化 (デザインレイヤ/ビューポート)	-	●	●	●	●	●
ビューポートのリアルタイム編集	-	●	●	●	●	●
表題欄マネージャ	-	●	●	●	●	●
カスタマイズ可能なグラフィック凡例	-	●	●	●	●	●
建築・内装設計機能		F	A	L	S	D
BIMobjectツール	-	●	●	●	●	●
Revit取り込み・取り出し・参照	-	●	●	●	●	●
IFC取り込み・取り出し・参照	-	●	●	●	●	●
Solibriダイレクト接続	-	●	●	●	●	●
都市計画・ランドスケープデザイン機能		F	A	L	S	D
GeoTIFF対応のジオリファレンス	-	●	●	●	●	●
オンラインGISデータの利用	-	●	●	●	●	●
地形モデルの作成・編集・解析	-	●	●	●	●	●
地形モデルの造成・土量計算	-	●	●	●	●	●
ランドスケープエリア / 生け垣	-	●	●	●	●	●
群衆の表現	-	●	●	●	●	●
道路 / ガードレール作成	-	●	●	●	●	●
緑石、境界と柵	-	●	●	●	●	●
舗床の作成・位置合わせ・ドレープ	-	●	●	●	●	●
多機能の植栽ツール / 既存樹木ツール	-	●	●	●	●	●
Maxonプラント	●	●	●	●	●	●
植栽添景ライブラリ	●	●	●	●	●	●
灌水システム	-	●	●	●	●	●
ステージ&ライティング計画機能		F	A	L	S	D
座席セクションレイアウト	-	●	●	●	●	●
LEDビデオウォール	-	●	●	●	●	●
イベント空間計画	-	●	●	●	●	●
ステージステップ / スロープ作成	-	●	●	●	●	●
柔軟な吊り元作成	-	●	●	●	●	●
概略図作成	-	●	●	●	●	●
トラス/ピントラス / ホイスト / プライダグ作図	-	●	●	●	●	●
照明器具データ・配置・GDTF編集	-	●	●	●	●	●
多彩なフォーカス指定	-	●	●	●	●	●
DMX / パッチ (照明器具のバッチとトラッキング)	-	●	●	●	●	●
柔軟な照明用番号付け	-	●	●	●	●	●
スピーカー配置	-	●	●	●	●	●
電源やケーブルシステムの作図	-	●	●	●	●	●
ビデオカメラ / ビデオスクリーン	-	●	●	●	●	●
イベントリと設備リスト	-	●	●	●	●	●
Showcase	-	●	●	●	●	●

ファイル互換一覧

取り込み	DXF・DWG (R2.5～2026) / DWF (4.2・5.5・6.0) / 3D DWF (6.01) / DWFX (6.02) / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ : WDP・DDS・EMF]・[Macのみ : SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT・JP2]) / PDF / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / スクリプト (TXT・VSS・VS・PY・PYC・XXT・MPC) / IGES (IGS・IGES) / OBJ / SAT / STEP (STP・STEP) / STL / Rhino 3DM (1～7) / Parasolid X_L T (9～37) / Cinema 4D テクスチャ (R13～2026) / USD (usd/usda/usdc/usdc) / mtextur テクスチャ / Arrowway テクスチャ / HDRI (HDR・EXR・JPG・PNG) / Distribution ファイル (IES) / MCD (7～12) / VWX (2008～2025) / Mosa Pattern / シンボル (DXF・DWG・IGES・OBJ・SAT・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X_L T) / Jw_cad (JWW・JWS)	●	●	●	●	●
	IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / Revit 2011～2026 (RVT・RFA) / 3DS / SketchUp (SKP 4～2025) / 点群 (LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY) / PartSpec (DXF・DWG・SAT・IGS) / 隣接マトリックス (TXT・CSV) / BCF / BCFZIP / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW) / シンボル (3DS・SKP)	-	●	●	●	●
	Shape (SHP) / 座標データ (TXT・CSV)	-	●	●	-	●
参照	照明器具情報 (Lightwright 5～6) / MVR (1.6) / GDTF (1.2)	-	-	-	●	●
	DXF・DWG (R2.5～2026) / DWF (4.2・5.5・6.0) / ワークシート (XLS・XLSX) / VWX (2026 [レイヤ参照])	●	●	●	●	●
	イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ : DDS]・[Macのみ : SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・JP2] / PDF / IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / Revit 2011～2026 (RVT・RFA) / VWX (2026 [デザインレイヤビューポート])	-	●	●	●	●
取り出し	DXF・DWG (R12～2026) / DWF (4.2・5.5・6.0) / 3D DWF (6.01) / DWFX (6.02) / EPSF (3.1) / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・HEIF [Windowsのみ : WDP・DDS・EMF]・[Macのみ : JP2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM]) / PDF (1.7)・PDF A-1b (1.4)・PDF A-2b (1.7)・PDF A-2u (1.7)・PDF A-3b (1.7)・PDF A-3u (1.7)・PDF A-4 (2.0)・PDF A-4e (2.0) / スクリプト (TXT・PY・VSS・VS) / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / データベース (TXT・CSV・DIF・SLK) / Cinema 4D (2025) / USD (usd/usda/usdc) / COLLADA (DAE) / FBX / IGES (IGS・IGES 5.3) / OBJ / SAT / STEP (STP・STEP) / STL / Rhino 3DM / Parasolid X_L T (9～37) / Strata Vision / HDRI (HDR) / パララマ (HTML) / VGX / アニメーション (MOV) / VWX (2021～2025) / Unreal Datasmith (4.27) / Jw_cad (JWW)	●	●	●	●	●
	IFC・IFCXML・IFCZIP (2x3・4) / Revit 2021～2026 (RVT・RFA) / 地理空間情報 (KML) / 3DS / 3D PDF / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD) / BCF (v2.1・v3.0)・BCFZIP (v2.0)	-	●	●	●	●
	Shape (SHP)	-	●	●	-	●
参照	ASCII テキスト (3.0) / 照明器具情報 (Lightwright 5～6) / ESC (Vision 4～Vision 2026) / MVR (1.6)	-	-	-	●	●

※記載されている情報は2025年11月現在のものです。最新の情報は弊社Webサイトをご覧ください。

スタンドアロン版

		Fundamentals	Architect	Landmark	Spotlight	Design Suite
永続ライセンス	価格	393,800 円 (税込)	523,600 円 (税込)	523,600 円 (税込)	523,600 円 (税込)	676,500 円 (税込)
	型番	124291	124292	124293	124294	124295
年間サブスクリプションライセンス ※1	価格	132,000 円 (税込)	198,000 円 (税込)	198,000 円 (税込)	198,000 円 (税込)	264,000 円 (税込)
	型番	SUBF31Y	SUBA31Y	SUBL31Y	SUBS31Y	SUBD31Y
月間サブスクリプションライセンス ※2	価格	13,200 円 (税込)	19,800 円 (税込)	19,800 円 (税込)	19,800 円 (税込)	26,400 円 (税込)

追加モジュール

		F→Design Suite	A→Design Suite	L→Design Suite	S→Design Suite
永続ライセンス (Design Suite モジュール 2026)	価格	282,700 円 (税込)	152,900 円 (税込)	152,900 円 (税込)	152,900 円 (税込)
	型番	VRCR31	ARCR31	LRCR31	SRCR31
永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用)	価格	129,800 円 (税込)	129,800 円 (税込)	129,800 円 (税込)	
	型番	VRAR31	VRLR31	VRSR31	

※1 販売店/家電量販店から購入する場合、ご購入先に専用申込書のご提出が必要な製品です。
※2 直接ベクターワークスジャパンへの申し込みとなります。販売店/家電量販店経由ではお申し込みいただけません。

Vectorworks 評価版 <https://customers.vectorworks.net/trial?lang=ja> Vectorworks 推奨動作環境 <https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/vw2026.html>

2026.01	ベクターワークスジャパン株式会社 https://www.vectorworks.net	営業部 email (一般の方) : market@vectorworks.co.jp email (販売店) : aa_sl-team@vectorworks.co.jp	Vectorworks Japan Store https://store.vectorworks.co.jp
---------	---	--	--

Vectorworks、Renderworks、BraceworksとConnectCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。VisionはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他の記号はそれぞれの会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

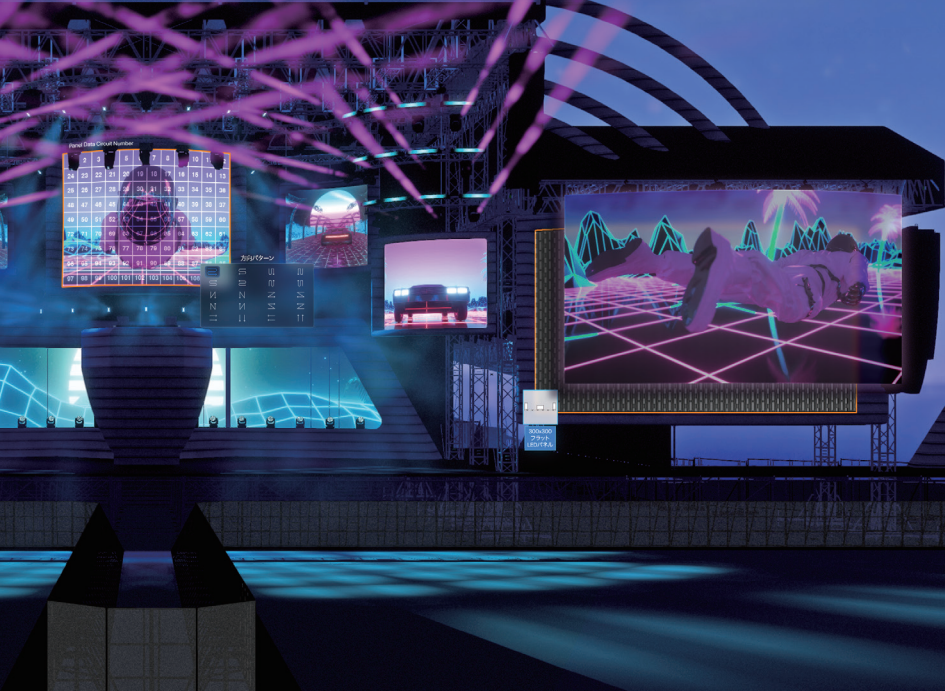
Vectorworks Japan Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 261219 AI



VECTORWORKS®
SPOTLIGHT

SPOTLIGHT

Vectorworks Spotlightは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。



01 イベント空間のプランニング

大きさにかかわらずイベント空間全体のプランニングをする上で必要な機能が揃っています。ソフトグッズツールでは一文字幕や水平幕、開閉する位置や幅を指定して引割幕も表現できます。座席セクションレイアウトツールでは、配置する座席の範囲や種類などを設定でき、設定した範囲や通路に合うよう自動的に座席が配置、調整されます。また、イベント空間のゾーンを区切るためのメタルフェンスや防護柵などのライブラリも豊富に取り揃えており、野外フェスのイメージパースの作成時にも活用できます。（座席セクションレイアウトは、Architectでも利用可能）

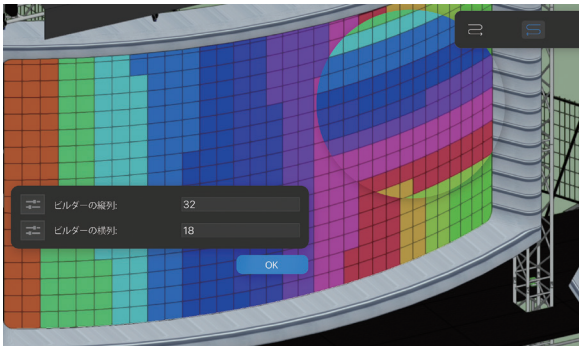
F A L S D



03 動画再生にも対応したさまざまなスクリーン

ビデオスクリーンやスクリーンセットツールを使用することで、アスペクト比やサイズを指定したスクリーンが作成できます。また、スクリーンには静止画だけでなく、Showcaseの機能と連携することで動画再生が可能となり、ステージ表現の幅が大きく広がります。バージョン2026で新たに搭載されたLEDウォールツールでは、直線の基本的なウォールから複雑な曲線や3次元形状まで、あらゆる角度でLEDウォールを設計・プランニングできます。

F A L S D



02 ステージデザイン計画機能

野外コンサートやイベントホールで使うさまざまなステージを表現できます。高さ、幅、奥行きを設定したユニットの組み合わせによるシンプルなステージを簡単に作成できるポータブルステージツールと、自由な形状を一から作図してステージを作り上げるカスタムポータブルステージツールの2種類があり、使い分けることでさまざまなステージを作成することが可能です。また、大型機材を運び入れるためのスロープやステージに上がるための階段なども、ツールを用いて素早く2D、3D同時に作成することができます。

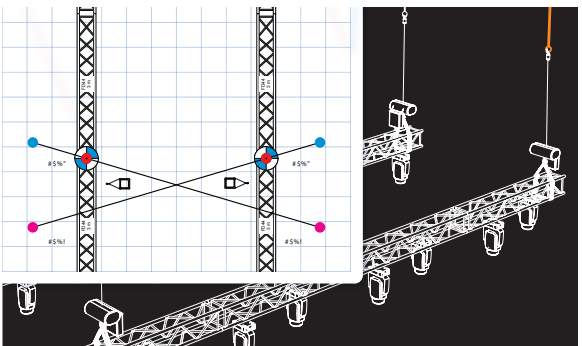
F A L S D



04 専用ツールによる劇場のプランニング

劇場のステージの上部にある照明や舞台美術など、さまざまな役割を持つパトンを、サイズなどの数値や役割を設定しながら作成できます。ストレートパトンのほか、コの字型や円弧のコーナーパトン、ラダー形状のパトンも作成が可能です。また、天井吊り点や構造材から吊り下げるリギングをホイスで連結することが可能です。バージョン2026ではブライダルにスタイルを適用することが可能となり、より詳細な制御と効率性が向上します。

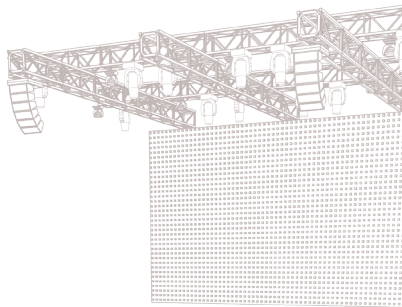
F A L S D



05 複雑なデザインが可能な吊り元作成

TOMCAT、Eurotruss、西尾レントオールなど国内外で使われているトラスメーカーのシンボルオブジェクトを搭載。トラスツールでは、一覧から選択して任意の箇所でワンクリックするだけで正確に複雑なデザインのトラスを組むことができます。また、トラスの連続配置や各コーナートラスの挿入方向をすばやく変更することができ、3Dビューでも直感的なデザインが可能です。バージョン2026では、新たに搭載されたサイドアームツールとカスタマイズ可能なクランプにより、設計精度とスピードがさらに向上します。

F A L S D



07 豊富な照明機材と自由自在な照明計画

国内メーカーをはじめ世界中で使われている4,000種類以上の照明機材を搭載。機材名・ワット数・重量・照射角度があらかじめ設定され、吊りポジション・アドレス・カラー番号情報なども自由に追加できます。Lighting Deviceツールを使用することで、複数の照明機材を一度の操作で均等配置でき、機材の入れ替えや変更も可能なため作業を大幅に効率化します。仕込図に必要な情報はラベル機能で表示/非表示が設定でき、DMXパッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックが可能です。

F A L S D



09 Showcase (プリビジュアライゼーション)

リアルタイムのプリビジュアライゼーションがVectorworks内で直接利用できるようになり、照明機材の直感的なコントロールが可能になりました。アプリケーションを離れることなくショーのテストランが行えます。バージョン2026では、スモークの表現が強化され、より現実的でダイナミックな演出が可能です。また、新たなShowcaseパレットを使用することで、ネットワークの接続状態を常に確認でき、Showcaseの開始や停止もスムーズに行えるようになりました。

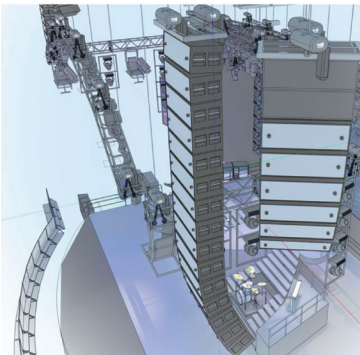
F A L S D



06 音響計画支援機能

Yamaha、L-Acoustic、Meyer Soundなど国内外で使われているスピーカーメーカーのシンボルオブジェクトを1,000種類以上搭載。ライブ会場などに設置するスピーカーアレイの表現も可能で、メーカー製のスピーカーやフレームを指定でき、設置方法もフライングだけでなくグランドや三脚が選択できます。また、コンサートでは必要不可欠となるピアノ、オーケストラ楽器をはじめ、ライブで使用するドラムセットや、音響の制御卓などのライブラリも豊富に収録しています。

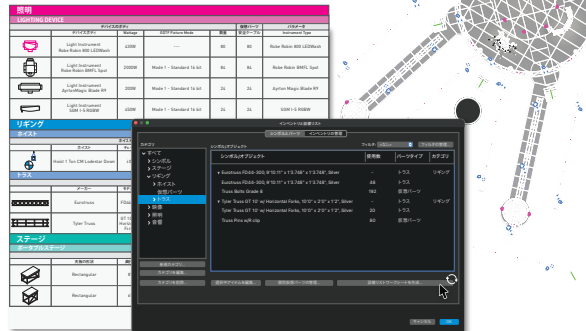
F A L S D



08 データと連動した図面作成とデータベース

Spotlightに搭載された各種ツールは2D、3Dのハイブリッドで作図されるため、投影図ビューポートを使用することで平面図や立面図を一度に作成することができ、モデルの修正や変更も即座に図面へ反映します。また、インベントリと設備リストの機能を使用することで、ファイル内のすべてのSpotlightオブジェクトを簡潔または詳細なレポートに統合できます。仮想パーツや描画していないアイテムもレポートに追加することが可能です。照明、音響、大道具など、業種を問わず活用できます。（投影図ビューポートは、Architect、Landmarkでも利用可能）

F A L S D



10 ビジュアライザーとの連携

Vectorworksで作成した3DモデルをDXF、C4D、3DSなどに変換でき、業界で使われている各種ビジュアライザーで利用可能です。また、業界最先端の共通ファイルフォーマットMVRをサポートしているため、さまざまなビジュアライザーやgrandMA3などのコンソールとデータ互換ができます。各照明機材に適用したGDTFファイルは、作図中やMVRへの変換時など、常に最新データへ更新することが可能で、高い互換性を維持します。

F A L S D



PUBG | Courtesy of Live Legends